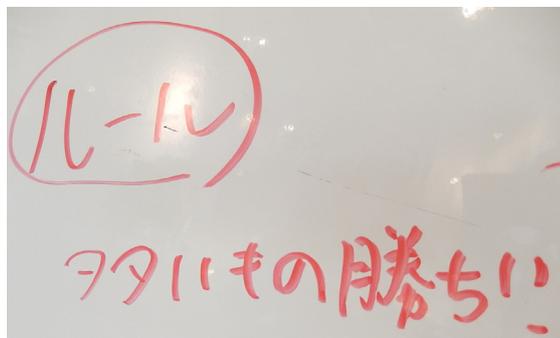


10 どうする？ カルタ大会



■最終校正を実施

10/15 (木) 10時～12時半

場所：埋蔵文化財センター 参加人数：7名

前回の課題だった、文章校正。各自チェックし10/15に持ち寄りました。当日は事務局担当が不在(団体見学の対応)だったので、ワークショップメンバーで進行し話し合ってもらうことにしました。

結果42個もの間違いや、確認した方がよい内容などを発見。細かなところまで意見交換ができたようで、基本すべての漢字にふりがなをつけるが、「年月日」だけは例外にするなどの意見もありました。

■カルタ大会の内容を考える

10/22(木)・10/29(木) いずれも10時～12時

場所：埋蔵文化財センター

参加人数：7名(10/22)、6名+中学生3名(10/29)
来年1月の発行にあわせて開催する「カルタ大会」を企画するための話し合いです。誰に、どんな遊びで楽しんでもらうのか？そもそもなぜカルタ大会をするのか？を意識しての話し合いです。当初の予定では、3回の話し合いと考えていましたが、皆さんの「前のめり」な話し合いの結果、2回の話し合いで企画にまとめました。詳しくは以下をご覧ください。

誰でも楽しめるカルタ大会！

事務局が、2日間の開催日(1/9と1/23)を提示したうえで話し合いを始めました。うち、一日はカルタ大会、もう一日はカルタ以外のあそびでのカルタ大会をできたらと考え、そのシナリオに沿って進めようとした事務局なのですが…皆さんからの意見は「誰でも一緒に楽しめるようにしよう！」との意見。誰でも楽しめる大会にすることで、より多くの人にとって楽しみながら泉南市の「ええとこ」を気づききっかけ作りをしようというものです。

泉南中学校の2年生と考えました！

このカルタで可能な遊びは3種類。カルタのほかに、「せんくまジャンケン」、「花笑み・せんなんめくり」です。ルールと遊び方は、職業体験に来ていた泉南中学校2年生3人と、実際に遊んでみながら考えてみました。

かなり楽しめるカルタ

カルタは、5人程度で遊ぶのがちょうどいいようです。句の頭文字と、絵札のカナが一緒なので、あっという間に勝負がつきます。1ゲームに10分程度というところでしょうか。本番では、まず1回練習してから、競技を行うことに。いきなり本番だと、「あんまり楽しくない」といった中学生の意見からです。読み札の句を読み上げるのは、ワークショップメン

バーがすることになりました。

進行役(ディーラーみたいな人)が必要

大会では、ワークショップのメンバーが「カジノのディーラー」みたいにテーブルについて進行役をすることにしました。ルールを説明する方法として、①紙にまとめて読んでもらう、②口頭で説明するなどの方法があるのですが、教えてくれる人がいればもっとスムーズに楽しめるからです。誰が勝ちなのか、ルールはどうか、瞬時に判断すると、ゲームに集中でき楽しく遊べます。



札を配ったり、ルールを教えてくれる進行役がいれば、プレイヤーがゲームに専念でき、楽しめます



「せんくまジャンケン」のマーク。

わかりにくい!との意見から、オレンジ色に変更です。

5、6人で遊べる「せんくまジャンケン」

「せんくまジャンケン」は、絵札の裏に描かれたジャンケンマークをつかったあそび。ゲー、チョキ、パーの絵がそれぞれ描かれた札と、3つとも描かれたもの(オールマイティ)の4種類をつかいます。

まず出た意見は「ジャンケンのマークが見えにくい」との意見。事務局の判断で、薄いグレーにしていたのですが、変更となりました。大きさと位置、色を中学生3名に決めてもらったところ、「オレンジがいい」とのこと。これで見えやすくなるはずです。

「せんくまジャンケン」は手札をじゃんけんで取り合うゲームで、最後に手札が一番多い人が勝ちです。何度かやってみたのですが、ルールは次の通りになることになりました。①まず、絵札をじゃんけんマークを裏にした状態で配る(余った札は山札とする)、②プレイヤーは配られた絵札を混ぜずにそのまま、上から出していく、③ジャンケンの合言葉は「せんくまジャンケン、じゃんけんほい(?)」、④勝ったひとがその場にだされた札を総取り、⑤独り勝ち以外は「あいこ」でそのままに貯めていく(次に勝った人が総取りできる)、⑥札がなくなればゲーム終了で、手元にもっている札が一番多い人が勝ち、⑦手元の札が同数の場合は、「せんくまジャンケン」で勝負をつける。5、6人でも楽しく遊べます。



「花笑み・せんなんめくり」のロゴ。それぞれの枚数を工夫して分配したので、大逆転のありのゲームです。

「花笑み・せんなんめくり」

絵を上にした絵札を、ひとつの山札にまとめ、裏側にある「花笑み・せんなん」のロゴの色2種と、ロゴなしの違いで「ぼうずめくり」の要領で遊びます。「ひめ」は「七色の花笑みロゴ」、「との」は「水ナス色の花笑みロゴ」、「ぼうず」は「ロゴなし」の絵札です。①絵を上にした絵札をひとまとめにする、②順番に1枚ずつ取る、③とった札が「との(水ナス色のロゴ)」の場合は自分のものにする、④とった札が「ぼうず(ロゴなし)」の場合は、持っている札をぜんぶ捨てる、⑤とった札が「ひめ(七色のロゴ)」の場合は、場に捨てられている札をぜんぶ自分のもののできる、⑥山札がなくなればゲーム終了で、手元にもっている札が一番多い人が勝ち。⑦手元の札が同数の場合は「せんくまジャンケン」で勝負をつける。

多いもの勝ち!の3種競技の大会にする

ここまで考えたところで、大会は1/9のみとすることにしました。すべての遊びを楽しめる大会にすれば「誰でも楽しめる」からです。当日は、まずカルタ、次に「花笑み・せんなんめくり」、最後に「せんくまジャンケン」と各1回続けて実施。最後に「ごほうび(順位に応じて渡す景品)」が多い人から順位をつけることにしました。競技時間は練習も含めて各10分程度、おおよそ1時間のイベントです。

一緒にみたい方、大歓迎です
問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL:072-483-6789
メールアドレス: maibun@city.sennan.lg.jp

【かるた大会の予定】平成28年1月9日(土)13:30~14:30で予定しています。内容は、カルタ+「花笑み・せんなんめくり」+「せんくまジャンケン」の三種競技。詳細は広報せんなん1月号で告知予定です。

【これからは、出前でカルタ大会をサポート】

「カルタができてからが本番、カルタ完成後も活動を続けていきたい!」とのウレシイ意見がありました。活動の形としては、まずは出前でカルタ大会をサポートする組織作りをめざします。

*カルタは市内の保育所、幼稚園、小中学校のほか、活用が見込まれる施設や団体に配布。個人的に必要な方は、販売する方法を考えています。